

株主のみなさまへ 第16期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

目 次

社長メッセージ	1
トピックス	6
会社概要／株式の状況	8
株主メモ	9



To Be a Good Company



東京海上ホールディングス株式会社



取締役社長 永野 毅

東京海上グループ経営理念

東京海上グループは、お客様の信頼をあらゆる活動の原点におき、企業価値を永続的に高めていきます。

- お客様に最高品質の商品・サービスを提供し、安心と安全をひろげます。
- 株主の負託に応え、収益性・成長性・健全性を備えた事業をグローバルに展開します。
- 社員一人ひとりが創造性を発揮できる自由闊達な企業風土を築きます。
- 良き企業市民として公正な経営を貫き、広く社会の発展に貢献します。

株主のみなさまにおかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、「株主のみなさまへ 第16期中間報告書」をお届けいたします。

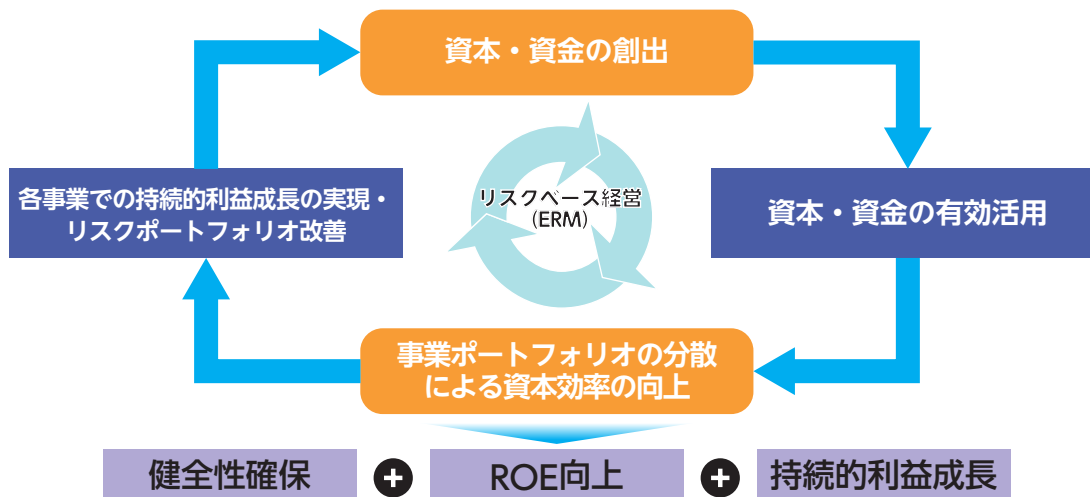
■中期経営計画「To Be a Good Company 2017」

当中間期の世界経済は、北朝鮮情勢の緊迫化等による地政学リスクの高まりもみられましたが、米国の景気が底堅く推移し、欧州においても景気が拡大したことから、全体として緩やかな回復が続きました。

わが国経済は、個人消費をはじめとした内需が主導する形で緩やかに回復しました。

こうした状況のなか、東京海上グループは、中期経営計画「To Be a Good Company 2017」の最終年度として、計画の達成に向けて取り組んでおります。「リスクベース経営(ERM)」を基軸に、資本効率の高い事業への投資やグローバルなリスク分散を進め、強みである財務の健全性を維持しつつ、持続的な利益成長と資本効率の向上をバランスよく達成してまいります。

【中期経営計画「To Be a Good Company 2017」の全体像】

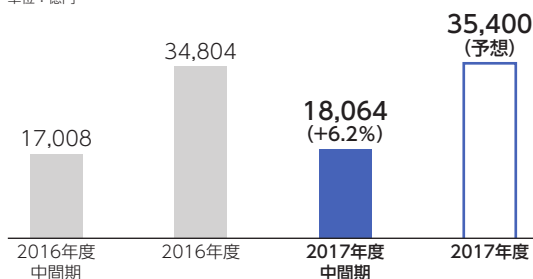


■連結経営成績および通期業績見通し等

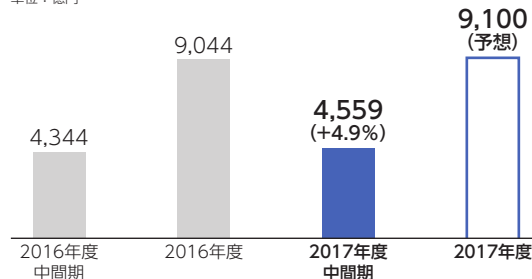
当中間連結会計期間の業績につきましては、経常収益は、保険営業の伸展等により、2兆7,323億円と前年同期に比べ5.6%の増加となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、北米ハリケーン等の影響で保険引受収支が悪化したことにより、767億円と前年同期に比べ50.6%の減益となりました。

■連結経営成績および通期業績見通し

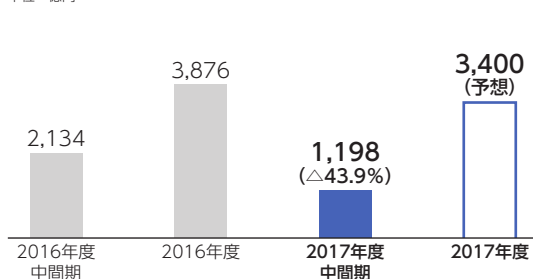
■ 正味収入保険料 ()内は前年同期比
単位：億円



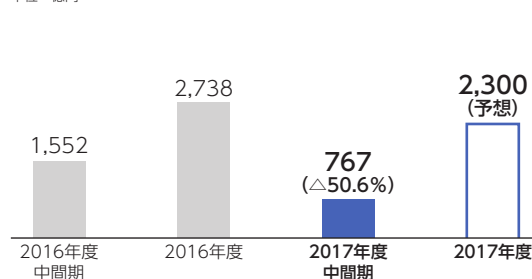
■ 生命保険料 ()内は前年同期比
単位：億円



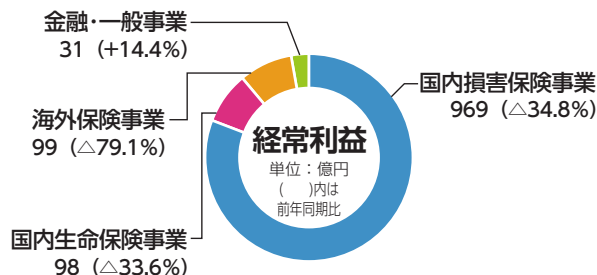
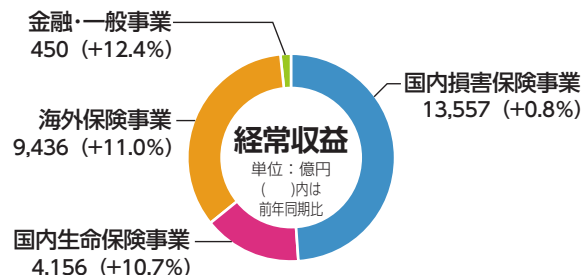
■ 経常利益 ()内は前年同期比
単位：億円



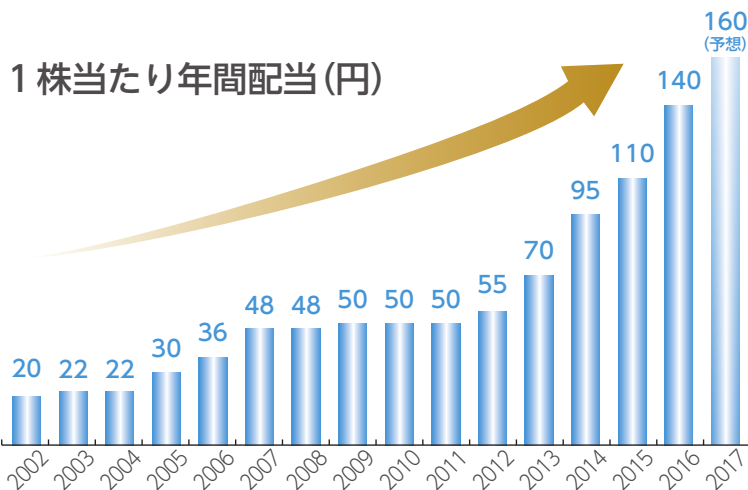
■ 親会社株主に帰属する当期純利益 ()内は前年同期比
単位：億円



■ 事業セグメントごとの経営成績



当年度の中間配当につきましては、1株につき80円をお支払します。また、当年度の期末配当につきましては、1株につき80円を見込んでおります。これらにより、当年度の年間配当は1株につき160円となる見込みであり、前年度の年間配当である1株につき140円に比べ、20円の増配を見込みます。



■事業セグメントごとの上半期の事業の概要

国内損害保険事業

経常収益構成比

49.1%

経常収益 1兆3,557億円 経常利益 969億円

■東京海上日動は、お客様の視点に立って、生損一体のビジネスモデルを一層深化させるとともに、地方創生や健康経営を積極的に支援しております。加えて、環境変化や技術革新に対応する新商品やサービスの開発を行うことにより将来の成長に向けた布石を打ち、持続的な利益成長を目指しております。

■同社は、本年4月より、通信機能付きドライブレコーダーを活用した個人のお客様向けの新サービス「ドライブエージェント パーソナル」の提供を開始しました。このサービスは、お客様の万が一のときにも安心をご提供すべく、ドライブレコーダーを通じて、事故時の自動通報や事故防止支援等を行うものです。



Drive Agent
Personal

- サイバーリスク保険にご加入いただいているお客様向けに、お客様ごとのサイバーリスクの要因等について様々な角度で分析したレポートを提供するサービスを開発しました。
- こうした取組みを通じて、保険による補償の提供に留まらず、事故削減を支援するなど付加価値の提供に努めてまいります。

国内生命保険事業

経常収益構成比

15.1%

経常収益 4,156億円 経常利益 98億円

■あんしん生命は、低金利環境の長期化が見込まれるなか、引き続き資産と負債の総合管理(ALM)を基本とした資産運用を行うとともに、就業不能、介護等の分野への保障を提供する「生存保障革命」を推進しております。

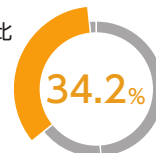


- 同社は、本年8月、2つの新商品を発売しました。「あるく保険」は、ウェアラブル端末で計測された平均歩数が一定の基準以上となった場合に、保険料の一部をキャッシュバックする業界初の医療保険です。変額保険「マーケットリンク」は、死亡や高度障害のリスクに備えつつ計画的な資産形成のニーズにお応えする商品です。

海外保険事業

経常収益 9,436億円 経常利益 99億円

経常収益構成比



- 東京海上グループは、グローバルな成長とリスク分散の実現を目指して、積極的に海外保険事業を展開しております。
- エイチシーシー社の専門性の高い保険商品を当社グループのグローバルネットワークを活用して販売することや、デルファイ社への資産運用の委託等を通じて、グループ全体のシナジーの実現に取り組んでおります。本年9月、エイチシーシー社は、さらなる収益基盤の強化に向け、アメリカン・インターナショナル・グループから、企業・団体が負担する従業員の医療費に係る保険事業等を買収することについて同社と合意しました。
- 新興国市場におきましては、本年7月、保険市場の急速な成長が期待されるインドにおいて、現地の損害保険会社イフコトキオ・ジェネラル・インシュアランス社に対する当社グループの出資比率を26%から49%に引き上げました。



TOKIO MARINE
HCC

DELPHI
A member of the Tokio Marine Group

東京海上グループは、「お客様の信頼をあらゆる活動の原点におく」という経営理念に基づき、収益性、成長性および健全性を兼ね備えた企業グループとしてさらに発展していくために、グループを挙げて業務に邁進してまいり所存でございます。お客様や社会から広く信頼される「良い会社(Good Company)」を築いてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 本中間報告書における金額および株数等は記載単位未満を切り捨てて表示、増減率等の比率は小数第2位を四捨五入し小数第1位まで表示しております。

マングローブ植林プロジェクト 累計植林面積 1万ヘクタール突破

東京海上日動は、1999年に創立120周年事業としてマングローブ植林プロジェクトを開始して以来、東南アジア、南アジア等の合計9か国で植林活動を行い、その累計植林面積は10,103ヘクタールとなりました（2017年3月末現在）。これは、100メートル幅で東海道・山陽新幹線沿いに東京駅から徳山駅までの距離に相当する植林面積です。

これまでのマングローブ植林面積

10,103_{ha}



※100m幅で新幹線の東京駅から徳山駅までの距離と、ほぼ同じです。



東京海上日動は、地球や人々の生活を守り、さまざまな恵みをもたらすマングローブの植林活動を「地球の未来にかける保険」と位置づけ、100年継続することを目指して取り組んでいます。



東京海上グループ 健康増進活動への取組み

東京海上日動は、疾病予防・健康増進に対する関心の高まりを受け、お客様自身の健康を見つめ直していただく機会とすることを目的として、国立がん研究センター監修のもとにウェブサービス「からだ予測ナビ 生活習慣編」を開発しました。このサービスは、ウェブ上で簡単なアンケートにご回答いただくことにより、10年後の生活習慣病の発症率を予測するものです。

この「からだ予測ナビ 生活習慣編」は、東京海上日動のウェブサイトからどなたでも無料でご利用いただけます。

また、本年8月に、あんしん生命が発売した「あるく保険」は、ウェアラブル端末で計測された平均歩数が一定の基準以上となった場合に、保険料の一部をキャッシュバックする商品ですが、お客様の健康づくりを応援するビジネスデザインが評価され、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「GOOD DESIGN AWARD 2017」において、2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

▼QRコードから「からだ予測ナビ」のページにアクセスできます。



**GOOD DESIGN
AWARD 2017**

水泳への支援の取組み

東京海上日動は、水泳を通し、健康な体づくりや青少年の健全な育成を応援したいという思いから、1989年より、公益財団法人日本水泳連盟のスポンサーとして支援を行っています。さらに、2015年からは、水泳競技の日本代表選手オフィシャルスポンサーとして協賛し、本年4月には、あんしん生命も新たに協賛に加わりました。

また、本年7月に開催された世界水泳後には、シンクロメダリストや競泳メダリストが来社されました。



会社概要

会社概要 (2017年9月30日現在)

名称 : 東京海上ホールディングス株式会社
 (英文名称: Tokio Marine Holdings, Inc.)
 本店所在地 : 東京都千代田区丸の内一丁目2番1号
 設立日 : 2002年4月2日
 資本金 : 1,500億円
 従業員数 : 640名
 事業内容 : 子会社の経営管理およびそれに附帯する業務

取締役・監査役

(2017年9月30日現在)

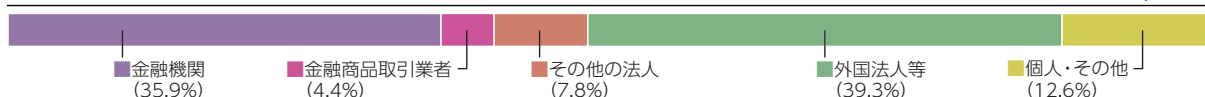
取締役会長 : 隅 修 三
 取締役社長 : 永 野 毅
 取締役副社長 : 岩 崎 賢二
 取締役副社長 : 藤 井 邦彦
 取締役副社長 : 石 井 一郎
 専務取締役 : 藤 田 裕一
 常務取締役 : 湯 浅 隆行
 取締役 : 北 沢 利文
 取締役 : 中 里 克己
 取締役 : 三 村 明夫 (新日鐵住金株式会社 相談役名誉会長)
 取締役 : 佐々木 幹夫 (三菱商事株式会社 特別顧問)
 取締役 : 江 川 雅子 (一橋大学大学院商学研究科 教授)
 取締役 : 御 立 尚資 (ボストンコンサルティンググループ シニアパートナー・アンド・マネージングディレクター)
 常勤監査役 : 玉 井 孝 明
 常勤監査役 : 伊 藤 卓
 監査役 : 川 本 裕子 (早稲田大学大学院経営管理研究科 教授)
 監査役 : 堀 井 昭成 (一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 理事・特別顧問)
 監査役 : 和 仁 亮 裕 (弁護士)

株式の状況

所有者別株式分布状況

(2017年9月30日現在)

合計(100%)



<発行済株式総数: 748,024千株>

大株主

(2017年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	46,926	6.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	40,063	5.4
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	23,698	3.2
明治安田生命保険相互会社	15,779	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口5	14,125	1.9
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	12,842	1.7
ジェービー モルガン チェース バンク 385632	12,444	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口7	11,168	1.5
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	11,015	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口9	10,992	1.5

(注) 持株比率は、自己株式3,042千株を控除して計算しております。

中間配当に関するお知らせ

第16期中間配当金は1株につき80円です(支払開始日は2017年12月1日)。

事業年度	4月1日から(翌年)3月31日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先および 電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話 0120-232-711(通話料無料)
	お受け取りになられていない配当金のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。なお、当社定款の定めにより、お支払開始日から満5年を経過した配当金につきましてはお支払ができなくなりますので、お早めにお申し出くださいますようお願い申し上げます。

株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをご提供いただく必要がございます。

【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

【主な支払調書】

- ・配当金に関する支払調書
- ・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのご提供に関するお問い合わせ先】

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 証券会社の口座にて株式を管理されている株主さま | …………お取引の証券会社にお申し出ください。 |
| 証券会社とのお取引がない株主さま | …………三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。 |

To Be a Good Company



TOKIOMARINE

東京海上ホールディングス株式会社



UD
FONT

